

横浜市医師会聖灯看護専門学校 令和7年度 学校運営評価

自己評価並びに関係者による学校運営評価を公表し教育の質の向上に取り組んでまいります。

I 「教育理念・目的・育成人材像」

建学の精神「和顔愛語・知目行足」を礎に、教職員一丸となり豊かな人間性をそなえ社会に貢献できる看護師の養成に取り組みました。新カリキュラムの移行に合わせ、本校の教育理念、教育目的、教育目標の実現のために策定された3つのポリシーは、本校の教育を理解し看護師を志す学生像を明確にしています。また、社会のニーズを踏まえ、「地域・在宅看護論」の学びに本校独自の工夫を取り入れるなど、教育内容の充実を図っています。

II 「学校運営」

各種規程や財務など重要事項を検討する運営会議のほか、日常の運営事項は管理会議で毎週協議し、教務事項については教務会議を毎月開催しております。この他、教員会議、各種委員会なども定期的に開催し、きめ細かな組織運営と意思決定を行っています。併せて、更なる職場環境の改善に向け、意思決定に至るまでの手順を明確にして、教職員間で自由に意見交換ができる風土作りに努めています。また、電子教科書の導入により、タブレット等 ICT を活用した指導・学生との情報共有などは徐々に浸透してきており、更に活用の範囲を広げています。

III 「教育活動」

教育方法については、演習やグループワークによるアクティブラーニングにより「気づき」や「思考力」を伸ばしていくとともに、ICT を活用した教育方法の取り組みとして Google Classroom の導入に向け研修会を開催し、ルールの策定に取り組みました。

また、実習についてはルーブリック評価を用い、思考・判断・態度を複合的に評価しました。資格試験対策では、国家試験対策委員会を中心に計画的に進め、学習支援アプリの活用のほか要支援学生には予備校講師による「聖灯寺子屋塾」を土曜日に開催して対策を強化しました。

看護師国家試験合格率は、第一看護学科は 88.0%、第二看護学科は 94.1%、本校全体の合格率は 89.1%と全国（88.3%）を上回る結果となりました。

令和7年度より、学力に課題のある学生を対象に各学年に学習支援教員を配置し、1年生から継続して個別指導を行い合格率の向上を図っています。

IV 「学修成果」

本校の目的である看護師の養成について、令和7年度においても国家試験合格者の就職率 100%を達成することができました（進学者を除く）。

また、就職先の看護部長に行ったアンケート調査では、昨年度より早期退職者がやや増加しておりました。一方、実習先の病院では就職した卒業生が元気に活躍する様子を把握することもできました。看護師不足の影響で学生と職場とのミスマッチが起こりやすくなっていることを

ふまえ、在学中の就職指導に尽力するとともに、就職後の状況も注視し、引き続き就業状況を把握したいと考えています。

退学率の低減については、各学年に学習支援教員を配置して、学年ごと個別に学力強化に取り組むとともに、個人面談や保護者面談をきめ細やかに行うよう努めました。

また、卒業率の低下対策として、入学前教育、学力向上プロジェクトなどを実施していますが、普段の生活態度や学習に取り組む基本姿勢を身に着けることに多くの時間を取られてしまい、学力向上になかなか繋がらない状況にあります。入学してくる学生の特性に応じ、教育方法も柔軟に変えていく必要があると考えています。

このほか、高等学校教諭向けの学校説明会の場を活用し、看護教育や看護学生に必要な資質について理解を求めるとともに、高等学校における学習状況について共有するなど、相互の理解・連携を更に深めていく必要があります。

V 「学生支援」

各クラス複数担任制により学習・生活・就職などきめ細やかに対応しています。また、就職支援として、学校主催の就職説明会や就職ガイダンスにも力を入れており、学生個々の自己分析を踏まえアドバイスをを行い就職先とのミスマッチを防いでいます。

一方、ここ数年は、入学時から精神面や家庭環境などに不安をかかえている学生が見受けられます。そこで、心理カウンセラーによるカウンセリングを、web 申込で予約したり、ニックネームや複数人で同時に行うことができるようにしています。併せて、相談時間を学生が利用しやすい放課後にも増やすなど精神面への支援を強化しました。

このほか、合理的配慮に関するガイドラインを策定・運用し、個々の状況に合わせた学習環境を提供できるよう努めています。

また、一般入試（前期選抜）では、新たに成績優秀者に特待生制度を設け支援を拡大しました。各種修学支援制度の認可に加え、本校独自の修学支援制度を設けるなど、経済的な面でも学生を支援しています。

VI 「教育環境」

令和 6 年度から電子教科書を導入し、これに伴い校内の Wi-Fi 環境等の設備の整備と併せて、各種学習用システムを導入し電子化を進め活用しています。継続的に利用状況を把握し活用範囲を拡大していくとともに、改善すべき点等に対応しながら、より良い学習環境を整えています。また、本校には十分な教材教具が備わっており、教材委員会を設置して教材・教具の点検並びに充実に努めています。

図書室では司書が常駐しており、書架には看護教育に必要な書物が取り揃えられています。

災害対策については、消防署や鶴見区役所の防災担当者立ち合いのもと防災訓練を年 2 回実施し、指導・助言をいただいております。併せて、防災訓練が終わった後に振り返りを行い、防災時の対応力強化に向け、より実践的な防災訓練になるよう努めています。

VII「学生の受け入れ募集」

一般入学試験のほか、総合型選抜入試、推薦入試（指定校・公募）及び社会人入試等の特別入試を実施し、より多くの学生を募集すべく努めています。看護師を目指す強い意志や本校入学への固い決意を持ち、自身の目標に向けた準備が整っている高校生を対象としている総合型選抜入試では、最も多くの合格者を出すことができました。

なお、第二看護学科につきましては、社会人学生の減少や受験者ニーズの変化に伴い、関係機関と調整のうえ、令和7年度をもって募集を終了いたしました。

また、広報活動にも力を入れて、魅力ある学校案内冊子（school guide）を作成し入学試験募集要項とあわせて配布するとともに、ホームページに掲載しています。

また、本校の学生生活を知っていただけるよう SNS を活用し、学校行事の写真や動画をタイムリーに掲載しました。併せて、オープンキャンパス（学校説明会）を頻繁に開催することで、教育理念、看護師国家試験合格率、就職状況、奨学金、入学試験等について詳細に説明し、より明確な目標・意欲を持つ学生の確保・育成を目指しています。

VIII「財務」

将来の経費負担に備え事業運営や営繕のための資金を積み立てており、現状では学校の財務基盤は安定していますが、18 歳人口の減少などから年々入学者数が減少する傾向にあります。将来に向かって持続可能な学校運営をしていくため、中長期的な視点で予算・収支計画を策定し、より厳格な執行管理に努めていかなければならないと考えております。また、本校の運営母体である横浜市医師会の財務状況について、医師会ホームページに公開しているほか、本校の財務状況については、事務部窓口において公開できる体制を整えています。

IX「法令等の遵守」

学則を始め各種規程、要項を設けコンプライアンス体制を整えており、常に学校を取り巻く環境・状況の変化をとらえ、内容の見直しおよび周知徹底を行っています。令和7年度は、AI の活用など社会的背景を踏まえ新たな規程等を制定しました。

また、ハラスメント防止と対策に関するガイドラインについては、ルールを定めるだけでなく、適切に運用されるよう研修や相談窓口の設置を行っています。

学校評価実施規程に則り、ホームページに学校運営評価を公開しています。

X「社会貢献・地域貢献等」

行政とも連携し地元町内会と災害時の施設使用の協定を締結しています。また、近隣病院の卒後教育に、教材と施設を提供しました。日常的な活動として、学生・教職員がエコキャップを回収し、世界の子どもたちにポリオワクチンを贈る活動に協力しています。このほか、就労支援事業所が運営するパン・お弁当の製造販売事業に対し校内ラウンジにて販売の場を提供しています。

聖灯祭では、学生によるユニセフ支援の募金活動を行うと共に、神奈川県赤十字血液センターの献血に多くの学生が協力しています。更に、定期的に行う本校学生自治会による学校周辺の清掃活動（クリーンアップ大作戦）や小学生向け看護体験イベントの開催、町内のお祭りへの参加や地域の方々との関わりを大切にした授業の構築など、地域に根差した社会貢献を心掛けています。

また、本校の特色を生かし、出産・育児・介護のほか、何らかの理由で看護職から離れていた看護師の復職を支援する講座を12回開催しました。次年度以降も、更に実施回数を増やすことを検討しており、地域で働く看護師の人材確保に貢献できるよう努めてまいります。

XI「今後の取り組みについて」

本校は47年と33年の歴史と伝統を持つ横浜市医師会立の看護専門学校二校を統合して開校した学校で、これまで長年にわたり多くの看護師を医療の第一線に輩出してきました。8,200名を超える卒業生が横浜市内の医療機関を中心に活躍しており、多様な実習先では手厚い指導を受け実践力を身に着けることができます。

令和8年度からは、星槎大学と提携しダブルスクール制度を導入し、希望者は本校に通いながらオンラインで大学での学修をすすめることができます。本校で取得した単位のほとんどが大学の卒業単位として認定され、本校卒業後、最短1年で大学卒業資格である学士を取得することができます。

より多くの方に本校を知っていただけるよう、Instagramを活用した情報の発信や、進学サイトの掲載社数を増やすなど認知度の向上に努めています。

また、入試においても制度の見直し等を検討し、本校で最も受験者が多い総合型選抜入学試験の実施回数を増やし、社会人入学試験では、横浜市内の医療・介護・福祉施設や実習病院等からの推薦者について、受験要件を緩和する制度を新設いたしました。

また、横浜市からの財政的な支援も得て、学費の負担を抑えることができておりますが、このほか、学費の負担を軽減しつつ、今後の就職にも繋げられる実習病院等の奨学金制度との連携についても深めていきたいと考えております。

このような取り組みを通して、横浜の医療の未来を支える看護師の育成という使命を、今後も果たしてまいります。